

外部格付け機関、AXAグループの ESG(環境、社会、ガバナンス)の堅実な取組みを高評価

- AXAのESG(環境、社会、ガバナンス)評価が、保険セクターの平均値を大幅に上回る
- コーポレートレスポンシビリティ投資インデックス(SRI)の構成銘柄として引き続き選定される
- 「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」、AXAの気候変動に対する取組みの有効性を引き続き評価

- **ダウ・ジョーンズ・インデックス**、ならびに環境・社会・ガバナンス面の格付評価機関である**SAM**(Sustainable Asset Management)は、このほど、2012年の評価結果を発表した。

AXAグループの総合評価は、74ポイント(100ポイント中)であり、保険セクターの平均である50ポイントを大幅に上回った。これは、19ある評価基準全てにおいて、業界を牽引する高評価である。特に、リスク及び危機管理対策、環境管理、顧客との関係、労使対話、ならびに従業員のダイバーシティ&インクルージョンに関する取組みに関するクオリティの高さが顕著であると評価された。

またAXAグループは、2012年も「DJSIワールド」ならびに「DJSIヨーロッパ」の構成銘柄として引き続き選定された。これらは、SRI投資の重要なベンチマークであり、コーポレートレスポンシビリティの取組みが先進的な企業が選定されるインデックスである。

これら2つのインデックスにおいてAXAが獲得した高評価と、昨年に引き続きインデックスの構成銘柄となった背景には、AXAグループの堅固なESGパフォーマンスが挙げられる。また、保険セクターの評価基準が厳格化された中でこの評価はさらに意義深いものがある。

- FTSEグループは、このほど、AXAグループがSRIインデックスのFTSE4Goodシリーズの構成銘柄に選定されたと公表した。これは、独立系社会格付機関であるEIRISが、詳細に渡って行ったESG分析結果に基づくインデックスである。
- SRI評価機関であるSustainalyticsは、2012年のAXAの分析結果を発表した。AXAは、世界各国の保険会社126社の中で、第6位である75ポイント(100ポイント中)を獲得した(ESG評価基準)。
- **カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)**は、このほど、温室効果ガス削減に対する企業の対応を取りまとめた最新の評価結果を公表した。

AXAグループは2年連続で「カーボン・パフォーマンス・リーダーシップ・インデックス」に選定された。現在、同インデックスは、FTSEグローバル500インデックス(世界の大企業500社)の中から、気候変動に対する取組みが最も有効と評価される33社を選定している。またこのインデックスは、環境フットプリントに関する課題に対する企業の取組みを評価する投資家が利用している。

AXAグループのコーポレートレスポンシビリティ部門ディレクターであるアリス・スティーランドは次のように述べている。

「AXAの社会、環境、ガバナンスにおける取組みが、外部の格付け機関によって評価され、世界有数のSRIインデックスの構成銘柄に引き続き選定されていることは、AXAグループの強固なCR戦略を証明するものである。6月のコーポレートレスポンシビリティウィークには、世界約40カ国から5万人もの社員が参加した。これは、AXAがチームとして、戦略の実行に深く関わっていることを示すものである。今後とも、現行のパフォーマンスを向上し、長期にわたってお客さまのそばに寄り添い、その生活をお守りするという社会的使命を遂行するために、取り組んで行かなければならない。」

- *1: 「DJSIワールド」は、ダウ・ジョーンズ・グローバル・インデックスの企業2,500社の中から、「持続可能な開発」に取り組む世界のリーディングカンパニー340社(2012年)で構成されています。
- *2: 「DJSIヨーロッパ」は、ダウ・ジョーンズ・ヨーロッパ・リファレンス・インデックスの企業600社の中の166社で構成されています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ ジャパン ホールディング株式会社 広報部
電話: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>